

# 荒木詩郎後援会ニュース

平成18年 7月発行 No.17 後援会 会長 秋田 博

連絡先 荒木詩郎事務所 塩浜4-2 ハイタウン塩浜50-601 Tel:047-395-8171

## 「荒木議員と語る茶話会」を開催中



たくさんの意見や要望がでて、少しずつ実現しています



4月から取り組んでいる荒木詩郎後援会の「荒木議員と語る茶話会」はこれまでに3回行なわれ、たくさんの方から行政に対する様々な疑問・意見や要望が寄せられてきています。荒木議員と後援会はそれらをまとめあげ、すぐ手を打つべきものは直ちに行政に働きかけて実現させるとともに、課題によっては議会での一般質問でとりあげ（例：6月議会）、要望の実現に取り組んでいます。また文字どおりお茶を飲みながら気軽に語り合うスタイルのこの「茶話会」は好評で、まさに市政と住民をつなぐパイプ役としての議員本来

話はずんだ「荒木議員と語る茶話会」（5月27日 8号棟集会所）の活動を荒木議員は精力的に展開しています。

### <これまでの茶話会で寄せられた要望事項と対応(抜粋)>

- 猫実川沿いの小歩道橋の塗装○塩見橋の火事後の補修○塩浜のバス停にベンチ=すでに実施済または実施中
- 猫実川沿いの放置車両撤去○内周道路のフェンス塗装○内周道路から買い物広場の仮駐車場に入る場所のカーミラーを大きく○学校の施設開放で子どもの育成団体からの電気代徴収はやめてほしい=以上は実現の見通し
- 塩浜体育館前の遊具整備○がん検診結果の全員への通知○鍼・灸券の無料配布○塩浜小学校の児童減少対策
- 安心電話を利用しやすく○塩浜駐車場問題○コミュニティバス関係○塩浜護岸対策○塩浜歩道橋関係等多数。

## 「先生とは呼ばないで」に感心—荒木の応援に名乗り 青葉スポーツ広場にて

4月8日、新浜1丁目に「青葉少年スポーツ広場」が、グランドゴルフ、ゲートボールなど、高齢者も利用できる多目的広場としてオープン。ところが、グランドゴルフをやるにも、肝心のボールが整備されていません。この声を知った荒木さんは、「これでは仏作って魂入れずではないか」と生涯学習部に申し入れたところ、直ちに1コース（8ホール）分のボールが整備されました。これには、福栄・南行徳・塩浜の利用者の皆さんが大喜び。初利用の5月8日（月）に荒木さんを招いて始球式が催され、和気満々とグランドゴルフ競技が行われました。さらに「荒木先生」と呼んだ方々に「私は先生ではありません。荒木さんと呼んでください」とお願いしたところ「こんなフランクな議員は初めてだ!」とこぞって荒木さんの応援に名乗りをあげました。

### 荒木詩郎後援会からのお知らせ <地元のみなさん、どうぞお気軽におこしください>

- 荒木議員と語る「茶話会」 7月13日(木) 13:00~15:00 8号棟集会所
- 「流しそうめん」パーティ 8月27日(日) 12:00~(会費300円) 第一住宅集会所(予)

## 荒木詩郎の議員活動の実績(その2)

●57号棟火災への対応(代表の方々への情報提供・宿泊場所の確保・毛布や被災者用備品の手配・塩浜市民体育館のシャワー使用許可・市営住宅への暫定入居) ●塩浜橋横の桜並木への階段設置 ●道路側溝の補修 ●歩道橋下排水改良 ●街路灯の設置 ●カーブミラーの設置(塩浜2基、南行徳1基) ●市営住宅の改修(集会所含む) ●塩浜体育館武道場壁の改修・ジャンピングボード修繕・水のみ場修繕 ●塩浜体育館の無料地域開放 ●自治会倉庫補助金あっせん ●防犯灯補助金あっせん ●塩浜老人いこいの家カラオケセット設置 ●塩浜老人いこいの家市民講座あっせん ●塩浜小・中の校舎改修とアスベスト対策 ●塩浜橋歩道改修工事 ●塩浜中体育館屋根修繕 ●ホームレスへの対応 ●警察・消防のパトロール要請・実施 ●南行徳シルバー人材センター職員の雇用確保



桜の名所猫実川沿いの土手に階段



バス停にベンチ



見通しの悪いカーブにミラー

●公衆トイレの改修 ●江戸川河川敷に駐車場設置 ●国府台競技場の定期芝刈り要請・実施 ●国府台競技場人工芝でのゲートボール許可 ●病院の紹介 ●福祉施設への入所あっせん ●市営住宅申し込みの相談 ●不審者・ストーカーへの対応 ●不登校児童の相談 ●市民農園の環境改善など 現在進行中 ●塩浜体育館前公園の遊具整備等 <このほか地域の皆さんといっしょに実現できたことがたくさんありますので随時お知らせいたします>

## 迫力あった荒木議員の一般質問(6月議会)

6月定例会市議会で、荒木議員は6月15日に一般質問にたちました。議会を傍聴した人からは、「なかなか迫力があってすばらしい」と評判です。以下その概要をお知らせします。詳細は「市議会報告」をご覧ください。

**国民保護計画について**…国の施策として、有事の際すぐに対応できるように、国、県、市町村が連携して計画を策定することになっているが、いざという時に役に立たないものになりかねない。住民の安全対策上最も重要な避難・誘導について実現可能な計画にすべき。民生委員や福祉関係者だけに頼るのではなく、自治会など地域の協力も必要な計画にすべき。

**高齢者対策について**…これらは4月から行なってきた「荒木議員と語る茶話会」で寄せられた市への要望です。

**安心電話の件**…有料化の情報(3月15日付広報)が不親切で混乱を招いた。実際は設置費は無料。但し現行でも回線使用料(月額380円)は各自負担している。また救急時ばかりでなく心配事や相談事なども受け付けるようサービスが拡大されるというが、利用の仕方=電話機の操作の仕方ではなく、どんな心配事・相談事に利用できるかを、わかり易く説明すべきだ。

**はり・灸の無料券配布を非課税世帯のみを対象にする件**…見直しをすると浮くのは年間5,000万円程度。

わずかそれだけの節減で「高齢者に冷たい市川市」との評価になり市のイメージダウンとなる。再検討を。

**がん検診の結果通知を異常のある人のみに通知している件**…県内では検診者全員に通知している市が70%、市川市と同様が30%。経費は切手代だけで、たった80万円。通知が来ないといつまでも不安。検診を受けた人は全員その結果を知りたいのが当然だ。再検討を要求する。

**塩浜駐車場問題**…市の指導で地域の四つの自治会が協議会を作って進めてきていたが、ある市議会議員が「ひとつの自治会でやらせろ」と市に圧力をかけたおかげで今ストップしている。この駐車場の要望は地域の自治会や管理組合、PTAなどがまとまって取り組んできたもの。こんな不正な働きかけを許していいのか。

荒木詩郎・後援会の活動はホームページでも紹介しています。(アドレス<http://www.s-araki.net/>)